

特 記 仕 様 書

水門樋門等点検要領

水門樋門等点検委託業務は（以下「業務」という。）は次の定めるところにより実施する。ただし、この要領に定めのない軽微な事項について、受託者は委託者の指示に従うものとする。

1) 目的

本事業は、水門樋門等の操作人の技術維持・向上を図ること、各施設を常に良好な状態に保持・機能させることを目的として、操作人への講習ならびに施設の保守点検を実施するものである。

2) 点検箇所

別紙「樋門総括表」のとおりとする。

3) 業務内容

イ) ダム・堰施設技術基準（案）及び水門鉄管技術基準等を使用し、監督員と点検項目について協議の上、点検すること。

ロ) 点検作業員は、業務について十分な知識と経験を有する者でなければならない。

ハ) 点検に際して受託者は、操作人の立会の上で作業を行うものとする。また、操作人の技術向上等を目的とした操作訓練等の研修も随時行うものとする。

ただし、委託者の承認を得た場合はこの限りではない。

ニ) 点検に際し河川工作物個票を作成し点検の結果、異常箇所がある場合は原因及び対策を個票に詳しく記入すること。

また、委託者が求めた場合は速やかに修繕に要する費用を算定し、提出すること。

ホ) 点検状況については写真を貼付し、異常箇所がある場合は、部分写真を貼付し異常の状態が把握できる個票を作成すること。

ヘ) 点検は、外部からの目視による点検及び分解を伴う内部の目視点検のほか、点検用器具（テストハンマー、メガーテスター、マイクロメーター、シックネスゲージ、塗膜厚計等）で点検し簡易な給油脂を行った後、管理運転（全開全閉を行う総合操作の機能確認及び調整）を行うこと。

ト) 受託者は、常に現場作業及び周囲の通行人の安全に留意し業務の実施に努めなければならない。

4) 取りまとめ要項

4-1. 点検箇所一覧表

番号順に河川名、箇所、施設名称、形状寸法、施設形式・材質、現在の操作委託者、連絡先、前回修繕業者・施工年月日を記入すること。

4-2. 表紙

各施設ごとに位置図に記入されている番号，河川名，箇所，施設名称，形状寸法，施設形式・材質，現在の操作委託者，連絡先，前回修繕業者・施工年月日を記入すること。

4-3. 位置図

位置図（概略）と撮影日の分かる全景写真を添付すること。

4-4. 状況写真

撮影日を明記すること。全景，遠景，扉体，巻き上げ機，分解状況，腐食状況ほか，異常状況が詳しくわかるものを添付する。特に分解時，内部の構造等に不都合が生じている場合は，ピンポール等でその箇所を示した写真を撮るようになる。貼付した写真の横にその内容等を詳しく明記すること。

操作人への講習状況等も記録し，整理すること。

4-5. 点検結果

点検箇所に異常がある場合，どのように悪いのか，またそれによってどのような不都合が生じるのか，詳細かつ誰が見てもわかるように明記すること。

また，それを修繕・交換するためにはどの程度の予算が必要なのかを部品ごとに数量及び金額を明記すること。

委託者が求めた場合は，点検結果を基にした見積書を速やかに作成すること。

4-6. 優先順位

上記点検の結果，早急に修繕しなければいけない箇所については，その優先順位を理由と共に明記すること。

4-7. その他

ネジ等を外して塗装が剥がれた箇所は，同色のペンキ等で補修しておくこと。

添付書類は全てA4サイズで提出すること。

また，上記データを表計算ソフト及び Excel 等によりデータベースとして整理したものを電子図書として，ウイルスチェック済のCD等で提出すること。

各図書の提出書類は3部（正1部，副2部）とする。

(参考様式)

位置図 No.〇〇

施設名	
水系名	
河川名	
位置	

位置図

写真

河川工作物個票

水系名	〇〇水系		河川名	
施設名			管理者名	
許可年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
許可番号	〇〇〇〇			
許可期間	〇〇年〇〇月〇〇日からまで			
地先名	左岸 〇〇〇〇			
	右岸 〇〇〇〇			
施設管理区分	1. 河川管理施設 2. 許可工作物 3. 管理者不明			
設置年月日	昭和・平成〇〇年〇〇月〇〇日			
操作委託者	氏名		電話番号	
	住所			
施設構造概要				
護岸	材質	コンクリート・ブロック・土羽・その他()		
樋門	門扉材質			
	戸当り材質			
	形状			
	型式	スライド・ローラー・その他()		
フラップゲート	ゲート材質			
	戸当り材質			
	形状			
巻き上げ機	方式	電動・手動・エンジン		
		ラック・スピンドル		
		発動発電器(有・無)		
コンクリート構造物	材料	RC・無筋・ブロック・その他()		
	鉄筋径			
上屋	材質			
	構造			
安全施設	手摺り	有・無		
塗装(m ²)				
対策工	内 容		修繕費(千円)	
扉体				
戸当り				
巻き上げ機				
護岸				
管理橋				
電気施設				
上屋				
照明				
塗装(m ²)				
その他				